



ブックスタート

子育て支援策への関心が高まるなか、わが国の自治体の間でも、英国で90年代に普及した“ブックスタート(Bookstart)”と呼ばれるプロジェクトを実施する動きがみられ始めています(図表)。2001年4月に発足し、同年9月にNPO法人の設立認証申請を行った「ブックスタート支援センター(東京都)」が、ネットワークの構築や情報・アドバイスの提供、シンポジウムの開催等を通じて、全国のブックスタート活動のサポート役を果たしています。

ブックスタートとは、心の通い合う人間関係の広がりを目指し、ゼロ歳児検診に参加する全ての乳児と保護者を対象に、乳児向けの絵本等の入ったブックスタート・バックを、プロジェクトの趣旨を説明しながら手渡しする試みです。自治体が用意するブックスタート・バックには、ブックスタート支援センターがリストアップした中から選ばれた複数の絵本のほか、地域の図書館の利用案内や子育て支援機関の紹介マップ等、地域毎に工夫を凝らした資料が入っています。この意味で、ブックスタートは、単なる読書の推進運動という狭い枠にとどまらず、絵本という道具を介して地域社会が、子育てを支援する方策のひとつと考えられます。

こうしたブックスタートのポイントとしては、絵本に興味のある人だけでなく、ゼロ歳児検診に参加する乳児と保護者の全てが対象であること、単なる絵本のプレゼントと異なり、保護者一人ひとりに直接、図書館員や保健婦等がブックスタートの趣旨を説明すること、などが挙げられます。さらに、全国一律のモデルが存在する訳ではないので、例えば、地域の図書館と連携し、子どもの成長段階に応じた読書環境を整備する等、ブックスタート以外の取組みとセットで実施するという方法を選択できる点も、ブックスタートの魅力です。

住民サイドの子育て支援ニーズは一段と多様化する方向にあるだけに、子育て支援メニュー拡充の観点から今後、英国生まれのブックスタートという新しいプロジェクトに目を向ける自治体の増加も予想され、ブックスタート導入に向けた動きが本格化するかどうか、注目されるところです(注)。

土方 研也

(注) 英国のブックスタートは、1992年にバーミンガムで教育基金団体のブックトラスト(Booktrust)によって始められ、2000年には、英国の9割を超える地域で実施されるまでに浸透。もっとも、こうした背景には、大手スーパーマーケット「セインズベリー」の寄付により、ブックスタート・プロジェクトを実施する自治体に対して、無料のブックスタート・バックが提供されるようになったという事情も。

ブックスタート実施市町村一覧(2001年度)

北海道士別市	長野県阿智村	兵庫県相生市	福岡県方城町
北海道恵庭市	長野県下條村	鳥取県東伯町	長崎県諫早市
茨城県明野町	長野県鬼無里村	鳥取県西伯町	長崎県玉之浦町
群馬県松井田町	岐阜県川島町	島根県瑞穂町	熊本県植木町
神奈川県清川村	静岡県細江町	岡山県邑久町	熊本県長陽村
新潟県西山町	愛知県幡豆町	岡山県西粟倉村	大分県緒方町
富山県高岡市	三重県三雲町	香川県三野町	鹿児島県頰娃町
山梨県一宮町	滋賀県山東町	福岡県稲築町	(以上、31市町村)

(資料) ブックスタート支援センター

(注1) 2001年10月末時点。

(注2) 市町村の配列は、総務省が定めた「全国地方公共団体コード」による。